



17生畜第685号
平成17年6月15日

各都道府県畜産主務部長 殿

農林水産省生産局畜産部畜産振興課長

稲発酵粗飼料用稲に係る適正な農薬の使用について

稲発酵粗飼料用稲に対する農薬の使用については、農家等による農薬の適正な使用が強く求められていることから、これまで「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」(稲発酵粗飼料推進協議会等編)に沿った稲発酵粗飼料用稲に対する農薬の適正使用について、指導をお願いしてきたところである。

今般、飼料作物等生産安定対策事業(事業実施主体:(社)日本草地畜産種子協会)において、稲発酵粗飼料用稲の農薬の残留性試験等を実施した結果、新たに下記の1の農薬が使用適当と判断され、また、下記の2の農薬が登録失効となった。

については、別紙のとおり、「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」を改訂することとしたのでお知らせする。

また、このことについて、貴管下の農家等の関係者に対し周知を図るとともに、地域の生産実態に応じた適正な農薬の選定と使用について指導をお願いする。

なお、貴管内の都道府県水田農業推進協議会に対する周知も併せてお願いする。

記

- 1 「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」に追加する農薬
殺虫剤

農 薬 の 種 類
フィプロニル粒剤

- 2 「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」から削除する農薬
殺虫剤

農 薬 の 種 類
P H C 水和剤

除草剤

農 薬 の 種 類
エトベンザニド粒剤

「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」

稲発酵粗飼料の生産

2 低コスト栽培技術

(4)栽培技術

病害虫防除

抵抗性品種の導入、病害虫発生予察を活用した的確な防除対策を基本とし、病害虫の発生が周辺の食用水稻に影響を及ぼさないように配慮しつつ、航空防除の実施地域では、作付の団地化を行うなど、防除対策について地域の関係者で十分な協議を行う。

その際、コスト低減を図るため、病害虫の発生状況を的確に把握し、必要最小限の防除に努める。

なお、稲用に登録されている農薬のうち、登録時のデータから、稲わらへの残留性が十分に低いと認められる農薬及び稲わらに残留したとしても牛の乳汁に検出されないことが確認されている農薬は、以下のとおりであるので、農薬による防除が必要な場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や病害虫の発生動向等を踏まえて選定する。農薬の使用に当たっては、当該農薬のラベルに記載されている「収穫 日前まで」という使用時期の「収穫」をWCS用イネの収穫（黄熟期）にそのまま適用するため、防除可能な期間が食用水稻より1週間～10日程度早まることに留意する。

スクミリングガイについては、春先や秋の収穫後の耕起により、その密度を低下させることが重要である。

殺虫剤

農薬の種類	農薬の種類
イミダクロプリド水和剤	フィプロニル粒剤
カルタップ水溶剤	ブプロフェジン水和剤
カルタップ粒剤	ブプロフェジン粉剤
カルタップ・MIPC 粒剤	BPMC 乳剤
カルボスルファンマイクロカプセル剤	MEP 粉剤
カルボスルファン粒剤	MEP マイクロカプセル剤
ダイアジノン乳剤	MIPC 粒剤
ダイアジノン粉剤	MIPC・MPP 粒剤
ダイアジノン粉粒剤	MPP 粉剤
ダイアジノン粒剤	MPP 粒剤
ダイアジノン・BPMC 乳剤	

注) については、平成17年6月追加。

殺菌剤

農薬の種類	農薬の種類
アゾキシストロピン水和剤	フルジオキシニル・ペフラゾエート乳剤
アゾキシストロピン粒剤	フルジオキシニル水和剤
イソプロチオラン水和剤	フルトラニル水和剤（フロアブルは除く）
イソプロチオラン乳剤	フルトラニル乳剤
イソプロチオラン粉剤	フルトラニル粉剤
イブコナゾール水和剤	フルトラニル粒剤
イブコナゾール乳剤	ベノミル水和剤
オキシリニック酸・フルジオキシニル水和剤	ペフラゾエート水和剤
オキシリニック酸・ペフラゾエート水和剤	ペフラゾエート乳剤
オキシリニック酸水和剤	T P N 粉剤

農薬肥料

農薬の種類
ウニコナゾールP複合肥料

植物成長調節剤

農薬の種類	農薬の種類
ウニコナゾールP液剤	ウニコナゾールP粒剤

雑草防除

WCS用イネにノビエ等の雑草が混入した場合、水分含量の相違等から品質が低下するため、雑草防除を的確に行う必要がある。特に、直播栽培を導入する場合には、雑草が繁茂しやすいので、初期の雑草防除が重要となる。

稲用に登録されている農薬のうち、直播水稻への適用があり、稲わらについても残留性が十分低いことが認められる農薬は以下のとおりであるので、除草剤を使用する場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や雑草の発生動向等を踏まえて選定する。除草剤の使用に当たっては、病害虫防除と同様に、農薬のラベルに記載されている「収穫日前まで」という使用時期の「収穫」をWCS用イネの収穫（黄熟期）にそのまま適用するため、防除可能な期間が食用水稻より1週間～10日程度早まることに留意する。

除草剤（直播栽培に適用できるもの）

農薬の種類	農薬の種類
イマゾスルフロン・エトベンザニド・ダイムロン粒剤	トリフルラリン乳剤
エトベンザニド・ピラゾスルフロンエチル粒剤	トリフルラリン粒剤
グリホサートアンモニウム塩液剤	ビスピリバックナトリウム塩液剤
グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	ピラゾキシフェン粒剤
シハロホップブチル粒剤	ピラゾレート粒剤
シハロホップブチル乳剤	ピリミノバックメチル・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤
シハロホップブチル・ベントゾン液剤	DCPA乳剤
ダイムロン・ベンスルフロンメチル・メフェナセット粒剤	

注) については、平成16年5月追加。

稲用に登録されている農薬のうち、移植水稻への適用があり、残留性が十分低いことが認められる農薬は以下のとおりであるので、除草剤を使用する場合には、これらの中から、都道府県の稲作指導指針等に記載されている農薬を、地域の農業改良普及センターの指導に従って作型や雑草の発生動向等を踏まえて選定する。

除草剤（移植栽培に適用できるもの）

農薬の種類	農薬の種類
シハロホップブチル粒剤	ベントゾン粒剤
シハロホップブチル乳剤	ベンスルフロンメチル・ベンチオカーブ・メフェナセット粒剤
シハロホップブチル・ベントゾン液剤	

注) 全ての剤を平成16年5月追加。

「稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル」の改訂について

改 訂	現 行																																																
<p style="text-align: center;">稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル</p> <p style="text-align: right;">平成14年3月 平成16年5月改訂 <u>平成17年6月改訂</u></p> <p>稲発酵粗飼料の生産 2 低コスト栽培技術 (4) 栽培技術 病虫害防除</p> <p>殺虫剤</p> <table border="1" data-bbox="161 821 1108 1289"> <thead> <tr> <th>農 薬 の 種 類</th> <th>農 薬 の 種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イミダクロプリド水和剤</td> <td><u>フィプロニル粒剤</u></td> </tr> <tr> <td>カルタップ水溶剤</td> <td>ブプロフェジン水和剤</td> </tr> <tr> <td>カルタップ粒剤</td> <td>ブプロフェジン粉剤</td> </tr> <tr> <td>カルタップ・MIPC粒剤</td> <td>BPMC乳剤</td> </tr> <tr> <td>カルボスルファンマイクロカプセル剤</td> <td>MEP粉剤</td> </tr> <tr> <td>カルボスルファン粒剤</td> <td>MEPマイクロカプセル剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン乳剤</td> <td>MIPC粒剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン粉剤</td> <td>MIPC・MPP粒剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン粉粒剤</td> <td>MPP粉剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン粒剤</td> <td>MPP粒剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン・BPMC乳剤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p><u>注) については、平成17年6月追加。</u></p>	農 薬 の 種 類	農 薬 の 種 類	イミダクロプリド水和剤	<u>フィプロニル粒剤</u>	カルタップ水溶剤	ブプロフェジン水和剤	カルタップ粒剤	ブプロフェジン粉剤	カルタップ・MIPC粒剤	BPMC乳剤	カルボスルファンマイクロカプセル剤	MEP粉剤	カルボスルファン粒剤	MEPマイクロカプセル剤	ダイアジノン乳剤	MIPC粒剤	ダイアジノン粉剤	MIPC・MPP粒剤	ダイアジノン粉粒剤	MPP粉剤	ダイアジノン粒剤	MPP粒剤	ダイアジノン・BPMC乳剤		<p style="text-align: center;">稲発酵粗飼料生産・給与技術マニュアル</p> <p style="text-align: right;">平成14年3月 平成16年5月改訂</p> <p>稲発酵粗飼料の生産 2 低コスト栽培技術 (4) 栽培技術 病虫害防除</p> <p>殺虫剤</p> <table border="1" data-bbox="1158 821 2060 1289"> <thead> <tr> <th>農 薬 の 種 類</th> <th>農 薬 の 種 類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>イミダクロプリド水和剤</td> <td>ブプロフェジン水和剤</td> </tr> <tr> <td>カルタップ水溶剤</td> <td>ブプロフェジン粉剤</td> </tr> <tr> <td>カルタップ粒剤</td> <td>BPMC乳剤</td> </tr> <tr> <td>カルタップ・MIPC粒剤</td> <td>MEP粉剤</td> </tr> <tr> <td>カルボスルファンマイクロカプセル剤</td> <td>MEPマイクロカプセル剤</td> </tr> <tr> <td>カルボスルファン粒剤</td> <td>MIPC粒剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン乳剤</td> <td>MIPC・MPP粒剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン粉剤</td> <td>MPP粉剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン粉粒剤</td> <td>MPP粒剤</td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン粒剤</td> <td><u>PHC水和剤</u></td> </tr> <tr> <td>ダイアジノン・BPMC乳剤</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	農 薬 の 種 類	農 薬 の 種 類	イミダクロプリド水和剤	ブプロフェジン水和剤	カルタップ水溶剤	ブプロフェジン粉剤	カルタップ粒剤	BPMC乳剤	カルタップ・MIPC粒剤	MEP粉剤	カルボスルファンマイクロカプセル剤	MEPマイクロカプセル剤	カルボスルファン粒剤	MIPC粒剤	ダイアジノン乳剤	MIPC・MPP粒剤	ダイアジノン粉剤	MPP粉剤	ダイアジノン粉粒剤	MPP粒剤	ダイアジノン粒剤	<u>PHC水和剤</u>	ダイアジノン・BPMC乳剤	
農 薬 の 種 類	農 薬 の 種 類																																																
イミダクロプリド水和剤	<u>フィプロニル粒剤</u>																																																
カルタップ水溶剤	ブプロフェジン水和剤																																																
カルタップ粒剤	ブプロフェジン粉剤																																																
カルタップ・MIPC粒剤	BPMC乳剤																																																
カルボスルファンマイクロカプセル剤	MEP粉剤																																																
カルボスルファン粒剤	MEPマイクロカプセル剤																																																
ダイアジノン乳剤	MIPC粒剤																																																
ダイアジノン粉剤	MIPC・MPP粒剤																																																
ダイアジノン粉粒剤	MPP粉剤																																																
ダイアジノン粒剤	MPP粒剤																																																
ダイアジノン・BPMC乳剤																																																	
農 薬 の 種 類	農 薬 の 種 類																																																
イミダクロプリド水和剤	ブプロフェジン水和剤																																																
カルタップ水溶剤	ブプロフェジン粉剤																																																
カルタップ粒剤	BPMC乳剤																																																
カルタップ・MIPC粒剤	MEP粉剤																																																
カルボスルファンマイクロカプセル剤	MEPマイクロカプセル剤																																																
カルボスルファン粒剤	MIPC粒剤																																																
ダイアジノン乳剤	MIPC・MPP粒剤																																																
ダイアジノン粉剤	MPP粉剤																																																
ダイアジノン粉粒剤	MPP粒剤																																																
ダイアジノン粒剤	<u>PHC水和剤</u>																																																
ダイアジノン・BPMC乳剤																																																	

雑草防除

除草剤（直播栽培に適用できるもの）

農薬の種類	農薬の種類
イマゾスルフロン・エトベンザニド・ ダイムロン粒剤	トリフルラリン乳剤 トリフルラリン粒剤
エトベンザニド・ピラゾスルフロンエチル粒剤	ビスピリバックナトリウム塩液剤
グリホサートアンモニウム塩液剤	ピラゾキシフェン粒剤
グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	ピラゾレート粒剤
シハロホップブチル粒剤	ピリミノバックメチル・ベンスルフロ ンメチル・メフェナセット粒剤
シハロホップブチル乳剤	
シハロホップブチル・ペンタゾン液剤	DCPA乳剤
ダイムロン・ベンスルフロ ンメチル・メフェナセット粒剤	

注) については、平成16年5月追加。

除草剤（移植栽培に適用できるもの）

農薬の種類	農薬の種類
シハロホップブチル粒剤	ペンタゾン粒剤
シハロホップブチル乳剤	ベンスルフロ ンメチル・ベンチオカー ブ・メフェナセット粒剤
シハロホップブチル・ペンタゾン液剤	

注) 全ての剤を平成16年5月追加。

雑草防除

除草剤（直播栽培に適用できるもの）

農薬の種類	農薬の種類
イマゾスルフロン・エトベンザニド・ ダイムロン粒剤	ビスピリバックナトリウム塩液剤 ピラゾキシフェン粒剤
エトベンザニド・ピラゾスルフロンエチル粒剤	ピラゾレート粒剤
エトベンザニド粒剤	ピリミノバックメチル・ベンスルフロ ンメチル・メフェナセット粒剤
グリホサートアンモニウム塩液剤	
グリホサートイソプロピルアミン塩液剤	DCPA乳剤
ダイムロン・ベンスルフロ ンメチル・メフェナセット粒剤	シハロホップブチル粒剤 シハロホップブチル乳剤
トリフルラリン乳剤	シハロホップブチル・ペンタゾン液剤
トリフルラリン粒剤	

除草剤（移植栽培に適用できるもの）

農薬の種類	農薬の種類
シハロホップブチル粒剤	ペンタゾン粒剤
シハロホップブチル乳剤	ベンスルフロ ンメチル・ベンチオカー ブ・メフェナセット粒剤
シハロホップブチル・ペンタゾン液剤	